

1 産業における将来像

本市は、住宅都市としての特性を大切にしつつ、地域産業の潜在力をも活かしながら、以下に掲げる「産業における将来像」を目指して、産業振興に向けた取り組みを推進していきます。

交流と連携でつくる、多彩な産業がキラリと光るまち あげお

2 産業振興の基本方針

前章で示した課題を解決し、産業における将来像を実現するため、本市における産業振興の基本方針について、以下の3点を定め、これらに沿った産業振興施策を推進します。

(1) 既存の産業のバージョンアップ

本市には、既に商業、工業の集積があり、農業も優れた商品作物の生産や6次産業化の事例があります。また、多くの人を集めるイベントや施設もあります。

こうした資源を有効活用しながら、それぞれの産業におけるニーズに対応した支援を行い、既存の産業の自立性と競争力を高めることにより、新たな価値を生み出すための「土台づくり」を推進します。

(2) 新たな交流・連携の推進

本市においては、戦後、経済の成長とともに、農業、商業、工業それぞれの分野において、経済団体を中心に様々な交流や連携が行われ、その発展に貢献してきました。しかし、近年の経済のグローバル化や長引く景気の低迷、6次産業化などの産業構造の変化など、産業を取り巻く環境の変化により、各分野内の交流や連携だけでは対応することが困難な状況が発生しています。

こうした状況に対応するためには、これまでの取り組みの蓄積を踏まえ、産業分野間の交流や連携を図ることにより、新たな技術の開発や新分野の産業の育成を推進します。

(3) ブランド化の推進

本市の産業が、厳しい競争に打ち勝つためには、価格や技術の競争力強化に加え、他のどこにもない魅力をブランドとしてもつことが必要です。本市には、農業、商業、工業が歴史的な背景をもって成立・発展してきた特徴と大都市圏、大消費地に立地する優位性があります。これらを活かし、製産品やサービスなどのブランド化を推進します。

3 各産業分野の目指すべき姿

基本方針に基づく産業振興の推進により、将来都市像の実現に向けた将来イメージについて、「各産業の目指すべき姿」として提示します。

(1) 農業 ～消費者への近さを活かしたブランド力のある農業

生産地と消費者が近いという立地を活かして、直売所などの活用や独自の販売ルートを構築し、市場や顧客から強い支持を受けています。また、商業や観光と連携した新たな取り組みが行われ、上尾のブランドイメージを作り上げています。

遊休農地については、都市近郊農業の特徴を活かした市民農園や体験農園などとして、有効活用されています。

(2) 商業 ～中心市街地でも郊外でも地域と繁栄する商店と商店街

上尾駅を核とした中心市街地は、魅力と一体感をもった取り組みを行うことにより、にぎわいを創出しています。

地域にある商店街や商店は、積極的に魅力の向上に努めるとともに、周辺の地域の実情に応じた商品の提供やサービスを行い、地域コミュニティとの連携を図っています。

大型店などは、地域の一員としての自覚を持ち、地域貢献を行うほか、地域の商店街や商店と連携して、共存共栄に向けた取り組みを進めています。

(3) 工業 ～高度なものづくりの伝統と広いネットワークをもつ中小企業と地域と連携する大企業

地域で伝えられてきたものづくりの技術を磨き上げ、高い競争力・収益力を持った中小企業が多数立地しています。これまで培われてきたネットワークをもとに、同業種・異業種間交流、産学官連携などにより、共同研究や共同受注などの自主的な取り組みが生まれています。また、技術開発・販路開拓、人材育成も活発になされています。

さらに、本社機能を有する大企業が、交通の利便性や災害の少なさなどの都市的環境を持つ上尾に立地し、地元雇用や社会貢献などを行い、地域との連携を図っています。

(4) 観光 ～地域資源を活かしたにぎわいを生む観光

歴史や自然など、上尾市独自の地域資源を活かすとともに、「自転車のまちづくり」などとの連携により、市内外から人が集まり、地域のにぎわいが生まれています。また、食やイベント、土産などにおいて、上尾市ならではのものが創られ、産業の振興や上尾のブランド向上につながり、集客に貢献しています。